

問2(1) 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」(性・年齢別)

■男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである(性別・年齢別)

女性

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- 無回答

そう
思
う

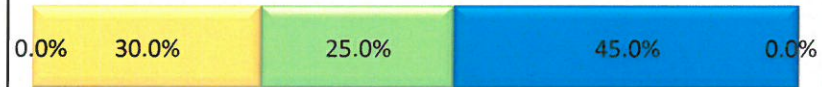
(計)

そ
う
思
わ
な
い

(計)

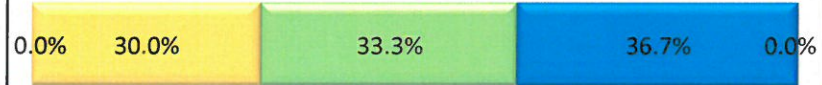
H26年

20歳代 (n=20)



30.0% 70.0%

30歳代 (n=30)



30.0% 70.0%

40歳代 (n=33)



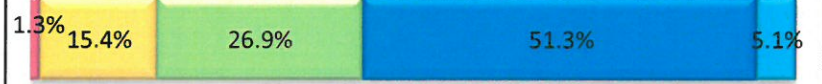
21.2% 78.8%

50歳代 (n=42)



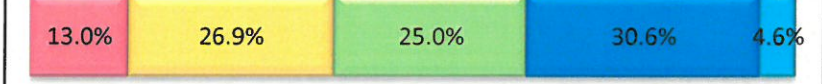
23.8% 66.7%

60歳代 (n=78)



16.7% 78.2%

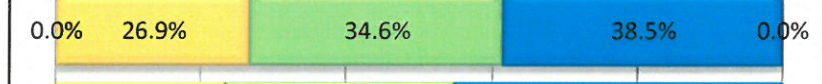
70歳~ (n=108)



39.9% 55.6%

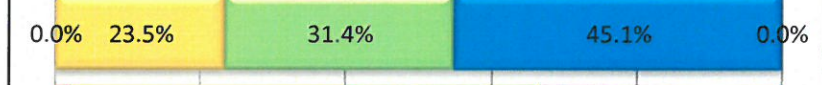
H22年

20歳代 (n=26)



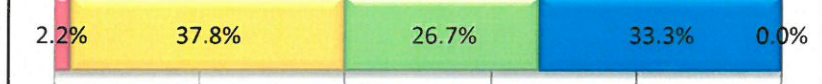
26.9% 73.1%

30歳代 (n=51)



23.5% 76.5%

40歳代 (n=45)



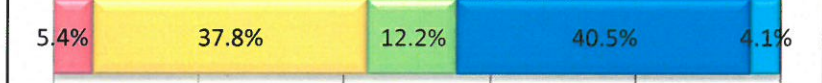
40.0% 60.0%

50歳代 (n=64)



25.0% 73.4%

60歳代 (n=74)



43.2% 52.7%

70歳~ (n=120)



53.4% 40.0%

問2 (1) 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」(平成22年度と比較)

「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考えについて、全体的にみると肯定的な人32.1%、否定的な人63.2%と31.1ポイント否定的な人の割合が高い。

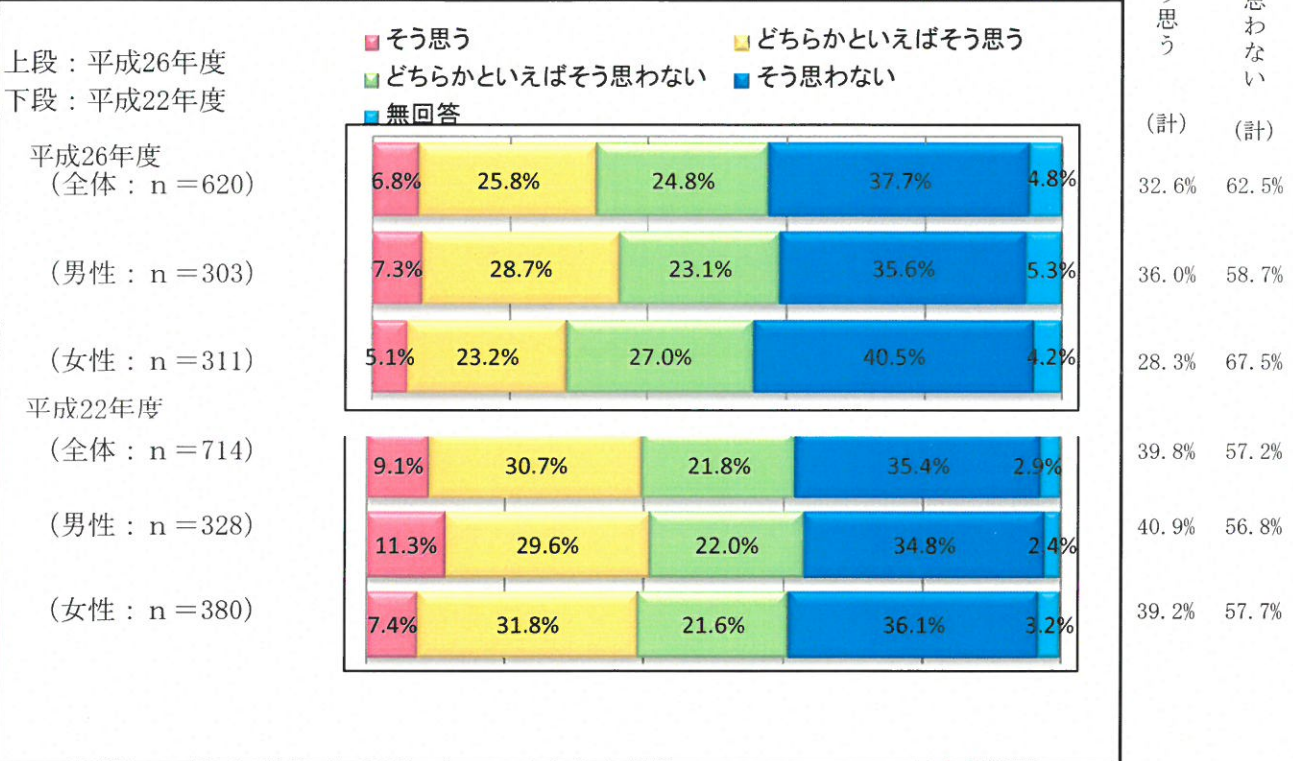
平成22年度調査と比較してみても、肯定的な人の割合が39.8%から32.1%へ7.7ポイント低くなり、否定的な人の割合が57.3%から63.2%に5.9ポイント上昇している。「男性は仕事、女性は家庭」という考え方に否定的な人の割合が増加している。

性別で見ると、肯定的な男性の割合40.9%から36.0%で4.9ポイント下降し、女性の割合も39.2%から28.3%で10.9ポイント下降している。

平成26年度の肯定的な人は、男性36.0%、女性28.3%で7.7ポイント差、平成22年度は男性40.9%、女性39.2%で1.7ポイント差で男女間の差が大きくなってきている。

平成26年度の島根県と浜田市を比較してみるとどちらも肯定的な考え方の割合が3割、否定的な考え方が6割程度とほとんど変わらない。

■男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである 平成26年度・平成22年度(全体・性別)



■島根県との比較(島根県H26)・浜田市(全体)

